

3月 モニターレポート		担当出張所	福島出張所
担当区間	淀川下流左岸 河口～淀川大橋 (左岸 -0.85K～4.7K)		
モニター実施日時	令和2年3月15日 (日) 8時半頃～11時半頃		
天 候	晴れ時々曇り		

## (見出し)

晴れていましたが風が少し強く気温も9℃位と低かったのですが、少しは春の気配でも感じられたらと思い河口に向かいました。

## (内 容)

今日も淀川左岸堤防は風が吹いていて、酉島6丁目のスーパー堤防の工事現場の吹き流しが横になびいていました。工事現場は下の道路面からのかさ上げもほぼ終わり、堤防道路とつながった感じでした。



大阪湾からの向かい風に逆らい河口に向かうと、常吉風向風速観測所の所から気持ちの良い眺めが目に入りました。

ヨットハーバー横のテトラポットの先には、舞洲北西海岸の人工磯、又そのはるか先には淡路島の姿まで見ることができました。



気持ちよく風に背中を押され上流に向かいたかったのですが、目に入ってくるのは相変わらずのゴミ。堤防下の道路との間にはいつものように投棄されたゴミの数々。

先月訪問時よりパワーアップしているのではとと思ってしまいました。

塗料が入っていたのではと見える一斗缶、大きなゴミ袋、組み立て家具の残骸等々。他にもまだまだあり自転車の投棄も有りました。

すぐ横の常吉公園とグラウンド。日曜日と言うのにだれ一人いませんでした。いつもなら少年野球の試合等が行われているのですが、9時頃と時間の早いせい、それとも新型コロナウイルスの影響か？



L0.0付近の川幅が広くなる辺り、先月訪問時には一面漂着物のゴミや草木等で埋め尽くされていたのですが今日は岸側に寄せられて護岸の敷石が現れ広く見えていました。水と風の力でしょうか？

敷石の縁のテトラポットの上では水鳥が日向ぼっこ。



堤防の法面も北側はまだ枯れた状態だが南面では草が目を出してきて緑に変わりつつある。所によってはクローバーの花が咲いていました。もう暫くで辺り一面が緑のジュータンに変わっていく季節です。



淀川のせり出した石組の上には釣り人が立ち、堤防にはウォーキングやランニングをされている方、川面にはウインドサーフィンを楽しむ姿も見られました。



9月に大淀中のL6.2付近で見かけたヨハネス・デ・レーケの描かれた綺麗なマンホールがUR西島リバーサイドヒルの辺りにもありました。



伝法大橋より上流阪神電車本線の辺りまでは阪神電車西大阪線の高架工事の為河川敷に立ち入りできません。

下の2枚の画像は踏み切りの所の堤防越しに撮った工事風景（伝法駅近く）と伝法3丁目からの伝法大橋を望む河川敷と淀川の様子です。



いつものようにL4.4より河川敷に進入。堤防上より淀川大橋方面を眺めると、投げ込まれたと思われる投棄物が目に入りました。衣類の入った袋、何故か頭部に袋をかぶせられた大きなぬいぐるみ等々。



堤防下の河川敷にも先月訪問時には見られなかった投棄物が。左下の画像には集積されたゴミの上に投棄物、中央の画像には木の枝の上に置かれたテントかターフ。右下は川岸に捨てられたテント。投棄は尽きることが無いのでしょうか。



堤防下の道や川岸は昨日の雨でぬかるみ、自転車や靴は泥まみれになりました。まだこの辺りは枯れた色合いだった。帰りに高見フローラルタウンを通るとモクレンの花が咲いていました。もう春です。青空とマンションを背景に一枚。



今月のモニターレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

3月分のモニターレポート、ありがとうございます。

未だ寒い3月中旬とはいえ、草花の様子から春が近いことが感じられました。

下流の1斗缶等の不法投棄については大阪市道の範囲ですから、市に対応してもらおうよう情報提供をしておきます。

河川敷は誰でも許可無く自由に使用できるのが原則ですから、色んな人が利用されます。中には心得の悪い人もいてゴミ投棄が目立つところもありますが、大都市大阪を流れる淀川河川敷がそれなりの美化水準を保っているのは、住民やボランティアの皆さんの美化活動があってこそなことだと思っています。

今後も河川管理者として住民の皆さん達とともに淀川の美化に努めていきたいと思えます。

新型コロナウイルスのこともありますので十分健康に気をつけてモニター活動を続けて下さいますようお願いいたします。